




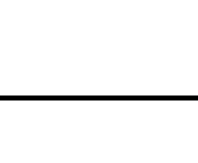

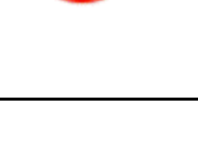
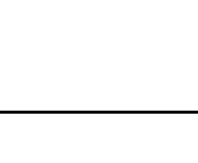
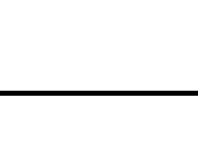
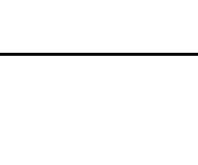



野菜の需給・価格動向レポート(平成26年9月16日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

| 種類  | 8月の価格情報  |   |        | 9月の価格情報 |                        | 生育及び価格の9月の見通し                                  |  |   |  |
|---|--|---|--------|---------|------------------------|--|--|---|--|
|   | 平年価格   | 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額  |        | 平年価格    | 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額 |  |  |   |  |
|   |  | 中旬  | 下旬     |         |                        |  | 上旬   |   |  |
| 葉<br>茎<br>菜   | キャベツ<br>                  | 74.19   | 89     | 96      | 74.19                  | 117  | ・入荷見込量: 14,620 (100)<br>・主産地: 群馬 (77)、岩手 (14)、北海道 (2)  | ・群馬産は、長雨と低温により生育は停滞気味で引き続き小玉傾向となっており、平年より少なめの出荷で、今後も少なめの出荷の見込み。岩手産は、長雨の影響から回復傾向で病害も落ち着きつつあるが、気温が低いことから引き続き少なめの出荷の見込み。<br>・群馬産及び岩手産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。  |  |
|   |  | 88.91   | 94     | 99      | 88.91                  | 118  | ・入荷見込量: 3,800t (95)<br>・主産地: 群馬 (72)、長野 (26)   |   |  |
|   | ねぎ<br>(関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)<br> | 273.33  | 317    | 245     | 273.33                 | 260  | ・入荷見込数量: 5,090t (105)<br>・主産地: 青森 (30)、北海道 (16)、秋田 (16)、山形 (10)、茨城 (9)、岩手 (5)、輸入 (4)   | ・青森産は、一部で病害が発生しているものの、長雨の影響は特に見られず、引き続き平年並みの出荷の見込み。北海道産は、気温が低く病害などの被害はなく、出荷は順調で平年並みの出荷の見込み。秋田産は、9月に入り天候に恵まれ生育は順調であることから平年並み若しくは平年よりやや上回る出荷の見込み。<br>・青森産、北海道産及び秋田産の出荷が平年並み若しくは平年をやや上回ると見込まれることから、価格は引き続き平年並み若しくは平年をやや下回る見込み。   |  |
|   |  | 487.13  | 403    | 482     | 487.13                 | 480  | ・入荷見込数量: 180t (100)<br>・主産地: 香川 (22)、徳島 (20)、三重 (14)、大阪 (12)、奈良 (12)   |   |  |
|   | はくさい<br>                  | 78.06   | 114    | 108     | 78.06                  | 157  | ・入荷見込量: 9,110t (100)<br>・主産地: 長野 (91)  | ・長野産は、長雨・曇天等により生育は良くなく、小玉となっているが、天候の回復に伴い、徐々に出荷は回復が見込まれ、また、この時期の出荷に係る作付が多いことから平年並みの出荷の見込み。<br>・長野産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を大きく上回っている価格は、徐々に平年並みに近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。   |  |
|   |  | 88.72   | 120    | 112     | 88.72                  | 158  | ・入荷見込量: 3,900t (94)<br>・主産地: 長野 (99)   |   |  |
|   | ほうれんそう<br>              | 583.95  | 661    | 898     | 583.95                 | 904  | ・入荷見込量: 860t (100)<br>・主産地: 群馬 (30)、栃木 (24)、茨城 (16)、岩手 (11)  | ・群馬産は、盆明けからの曇雨天の影響から、平年より少なめの出荷となっており、今後も引き続き少なめの出荷の見込み。栃木産は、低温と日照不足により少なめの出荷であったが、天候の回復に伴い平年並みの出荷の見込み。<br>・栃木産の出荷が平年並みと見込まれるものの、群馬産は少なめの出荷が見込まれることから、平年を大幅に上回っている価格は、平年並みに近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。   |  |
|   |  | 670.86  | 709    | 909     | 670.86                 | 935  | ・入荷見込量: 360t (91)<br>・主産地: 岐阜 (82)、北海道 (10)  |   |  |
|   | レタス<br>(結球)<br>         | 158.27  | 149    | 229     | 158.27                 | 262  | ・入荷見込量: 9,090t (95)<br>・主産地: 長野 (84)、群馬 (9)  | ・長野産は、長雨や日照不足による病害発生や気温低下などの影響により、少なめの出荷となっている。今後は天候の回復に伴い穏やかに出荷が回復し、概ね平年並みの出荷の見込み。<br>・長野産の出荷が概ね平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は、徐々に平年並みに近づく見込み。  |  |
|   |  | 152.57  | 160    | 243     | 152.57                 | 277  | ・入荷見込量: 1,900t (94)<br>・主産地: 長野 (97)   |   |  |
| たまねぎ<br> | 84.85  | 120   | 118    | 76.15   | 116                    | ・入荷見込量: 12,180t (110)<br>・主産地: 北海道 (87)、輸入 (4) | ・北海道産は、降雨の影響に伴う収穫作業の遅れがあったが、8月下旬から天候が回復し概ね順調に収穫作業が行われていることから、平年並み若しくは平年をやや上回る出荷の見込み。<br>・北海道産の出荷は概ね平年並み若しくは平年をやや上回ると見込まれるものの、中国産の輸入が残留農薬の問題の影響もあることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |   |  |
|   | 84.85  | 137   | 132    | 76.15   | 119                    | ・入荷見込量: 3,400t (104)<br>・主産地: 兵庫 (51)、北海道 (44) |  |   |  |
| 果<br>菜  | きゅうり<br>                | 210.69  | 410    | 511     | 210.69                 | 399  | ・入荷見込量: 6,680t (95)<br>・主産地: 福島 (30)、岩手 (10)、群馬 (10)、秋田 (10)、埼玉 (9)、茨城 (9)、宮城 (7)  | ・福島産は、長雨、日照不足、低温の影響で引き続き少なめの出荷となっており、今後は出荷終盤期で減少し平年より少なめの出荷の見込み。岩手産は、長雨と日照不足の影響から、引き続き少なめの出荷の見込み。群馬産は、低温により生育はやや遅れているが、今後はピークに向けて増量が見込まれることから、天候により変動はあるものの概ね平年並みの出荷の見込み。<br>・群馬産の出荷が平年並みの出荷が見込まれるものの、福島産及び岩手産が平年より少なめの出荷が見込まれることから、平年を大幅に上回っている価格は平年並みに近づくものの、引き続き平年をやや上回って推移する見込み。                      |  |
|   |  | 221.71  | 449    | 509     | 221.71                 | 416  | ・入荷見込量: 1,550t (100)<br>・主産地: 福島 (29)、北海道 (28)、愛媛 (12)、大阪 (6)、宮崎 (6)   |   |  |
|   | トマト<br>(大玉)<br>         | 229.51  | 201    | 289     | 229.51                 | 328  | ・入荷見込量: 8,060t (100)<br>・主産地: 千葉 (18)、福島 (17)、青森 (16)、北海道 (12)、茨城 (12)、群馬 (9)  | ・青森産は、長雨などの影響も特に見られず、やや小玉傾向であるが、概ね平年並みの出荷の見込み。千葉産は、低温による着色の遅れと一部で花とびが見受けられ、少なめの出荷となっているものの、今後は抑制作型の出荷の増加が見込まれることから、平年並み若しくは平年をやや上回る出荷の見込み。福島産は、最近の低温による着色の遅れにより、少なめの出荷となっており、今後も引き続き平年より少なめの出荷の見込み。<br>・青森産及び千葉産は概ね平年並みの出荷が見込まれるものの、福島産が平年をやや下回る出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。 |  |
|   |  | 271.33  | 230    | 316     | 271.33                 | 347  | ・入荷見込量: 1,700t (86)<br>・主産地: 岐阜 (39)、北海道 (32)、岡山 (8)   |   |  |
|   | なす<br>                  | 209.55  | 322    | 327     | 209.55                 | 375  | ・入荷見込量: 3,670t (100)<br>・主産地: 栃木 (31)、群馬 (25)、茨城 (23)、埼玉 (6)   | ・栃木産は、夜温が低いことによる肥大不足と日照不足による品質低下から少なめの出荷となっており、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。群馬産は、曇雨天と低温の影響で少なめの出荷となっており、一部病害の発生もあり、引き続き少なめの出荷の見込み。茨城産は、天候の回復とともに生育も回復し、現在概ね平年並みの出荷となっており、今後は天候に大きな崩れがない限り平年並みの出荷の見込み。<br>・茨城産の出荷は概ね平年並みと見込まれるものの、栃木産及び群馬産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。                     |  |
|   |  | 221.72  | 320    | 326     | 221.72                 | 365  | ・入荷見込量: 800t (71)<br>・主産地: 埼玉 (20)、山梨 (19)、徳島 (15)、大阪 (6)、奈良 (6)   |   |  |
|   | ピーマン<br>                | 263.58  | 277    | 368     | 263.58                 | 579  | ・入荷見込量: 2,080 (100)<br>・主産地: 茨城 (39)、岩手 (35)、福島 (12)、青森 (10)   | ・茨城産は、長雨と曇天などの影響もほぼなく、着果も良いことから生育は概ね順調で、平年並みの出荷の見込み。岩手産は、長雨と日照不足の影響から少なめの出荷となっており、引き続き少なめの出荷の見込み。福島産は、長雨、日照不足、低温などの天候不順の影響で平年より少なめの出荷となっており、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。<br>・茨城産の出荷が平年並みと見込まれるものの、福島産及び岩手産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は平年並みに近づくものの、引き続き平年を上回って推移する見込み。  |  |
|   |  | 282.16  | 262    | 390     | 282.16                 | 466  | ・入荷見込量: 490t (95)<br>・主産地: 青森 (22)、茨城 (16)、福島 (14)、兵庫 (12)、北海道 (11)、愛媛 (8)、大分 (7)  |   |  |
|   | 根<br>菜   | だいこん<br> | 94.60  | 100     | 108                    | 94.60  | 120  | ・入荷見込量: 11,480t (100)<br>・主産地: 北海道 (60)、青森 (34)、岩手 (4)  | ・北海道産は、播種作業の遅れた作型の出荷時期が重なるため、平年よりやや多めの出荷の見込み。青森産は、長雨による影響はほとんど見られず、生育は概ね順調であることから、平年並みの出荷の見込み。<br>・北海道産及び青森産の出荷が平年並み若しくは平年をやや上回ると見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。 |
|   |  |   | 100.39 | 102     | 106                    | 100.39   | 115  | ・入荷見込量: 3,600t (94)<br>・主産地: 北海道 (60)、青森 (14)、岐阜 (9)、岩手 (7)、群馬 (6)  |  |
| にんじん<br> |  | 123.08  | 105    | 105     | 123.08                 | 106  | ・入荷見込量: 7,940t (105)<br>・主産地: 北海道 (97)、輸入 (1)  | ・北海道産は、病害虫の発生もなく生育は概ね順調で品質も良いことから、平年よりやや多めの出荷となっており、今後も引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。<br>・北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。   |  |
|   | 123.11   | 109   | 108    | 123.11  | 109                    | ・入荷見込量: 2,700t (100)<br>・主産地: 北海道 (98)         |  |   |  |

| 種類 | 8月の価格情報 |                        |     | 9月の価格情報 |                        | 生育及び価格の9月の見直し |  |
|----|---------|------------------------|-----|---------|------------------------|---------------|--|
|    | 平年価格    | 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格 |     | 平年価格    | 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格 |               |  |
|    |         | 中旬                     | 下旬  |         |                        |               | 上旬   |
| いも | さといも    | 242.66                 | 366 | 316     | 242.66                 | 321           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入荷見込量：960t (100)</li> <li>・主産地：千葉 (63)、宮崎 (17)、輸入 (3)</li> </ul> |
|    |         | 220.11                 | 430 | 263     | 220.11                 | 347           |  |
|    | ばれいしょ   | 101.61                 | 123 | 118     | 101.61                 | 117           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入荷見込量：8,510 (105)</li> <li>・主産地：北海道 (94)</li> </ul>              |
|    |         | 101.61                 | 119 | 128     | 101.61                 | 116           |  |

注：1 平年価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均で(消費税は除く。)保証基準額の算定の基となる価格。  
2 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)  
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。  
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見直し」による。( )内は前年対比。さといもは前年実績。  
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。  
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。  
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価格を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

## 2 野菜の需要動向

家計調査によると、7月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,542gで前年比102%、購入金額は、1,770円で同99%となった。  
また、小売物価統計によると、8月のキャベツの小売価格は、158円で過去5か年平均比113%、レタスは、419円で同101%とともに過去5か年平均を上回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

| 年   | 過去5か年平均 |         | 平成25年   |         | 平成26年   |         | 前年比 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|
|     | 購入数量(g) | 購入金額(円) | 購入数量(g) | 購入金額(円) | 購入数量(g) | 購入金額(円) |     |
| 1月  | 4,252   | 1,595   | 4,243   | 1,669   | 4,379   | 1,775   | 106 |
| 2月  | 4,463   | 1,624   | 4,553   | 1,652   | 4,646   | 1,742   | 105 |
| 3月  | 4,836   | 1,772   | 4,961   | 1,769   | 4,903   | 1,861   | 105 |
| 4月  | 4,747   | 1,838   | 5,019   | 1,809   | 4,871   | 1,887   | 104 |
| 5月  | 5,103   | 1,902   | 5,257   | 1,861   | 5,146   | 1,993   | 107 |
| 6月  | 5,092   | 1,885   | 5,249   | 1,897   | 4,998   | 1,976   | 104 |
| 7月  | 4,423   | 1,712   | 4,456   | 1,783   | 4,542   | 1,770   | 99  |
| 8月  | 4,324   | 1,713   | 4,422   | 1,741   |         |         | 0   |
| 9月  | 4,768   | 1,803   | 4,577   | 1,863   |         |         | 0   |
| 10月 | 5,238   | 1,861   | 5,225   | 1,932   |         |         | 0   |
| 11月 | 4,993   | 1,671   | 4,852   | 1,806   |         |         | 0   |
| 12月 | 5,142   | 1,882   | 5,152   | 2,093   |         |         | 0   |

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注：過去5か年平均は、平成21～25年の平均。

主要野菜の小売価格(東京都都区部)

|     | キャベツ    |       |         | レタス     |       |         |
|-----|---------|-------|---------|---------|-------|---------|
|     | 過去5か年平均 | 平成26年 | 5か年比(%) | 過去5か年平均 | 平成26年 | 5か年比(%) |
| 1月  | 198     | 267   | 135     | 673     | 684   | 102     |
| 2月  | 211     | 234   | 111     | 605     | 578   | 95      |
| 3月  | 200     | 200   | 100     | 498     | 459   | 92      |
| 4月  | 248     | 206   | 83      | 469     | 381   | 81      |
| 5月  | 169     | 175   | 104     | 371     | 351   | 95      |
| 6月  | 137     | 147   | 108     | 317     | 321   | 101     |
| 7月  | 153     | 173   | 113     | 322     | 338   | 105     |
| 8月  | 140     | 158   | 113     | 415     | 419   | 101     |
| 9月  | 149     |       | 0       | 506     |       | 0       |
| 10月 | 158     |       | 0       | 449     |       | 0       |
| 11月 | 162     |       | 0       | 421     |       | 0       |
| 12月 | 162     |       | 0       | 521     |       | 0       |

資料：総務省「小売物価統計調査報告」  
注：1 過去5か年平均は、平成21～25年の平均。  
2 平成26年8月の値は、8月中旬の速報値。

## 3 野菜の輸入動向

8月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比105%(中国は同101%)の2万4千トン、にんじんは、同85%(中国は同87%、ニュージーランドは同16%)の5千5百トン、ねぎは、同87%(中国は同87%)の4千トンとなった。たまねぎは前年をやや上回り、にんじん及びねぎは大きく下回った。

野菜の輸入数量

| 区分        | 平成24年     |     | 平成25年     |     | 平成26年1～7月 |       | 平成26年7月 |     |
|-----------|-----------|-----|-----------|-----|-----------|-------|---------|-----|
|           | 前年比       | 前年比 | 前年比       | 前年比 | 前年同月比     | 前年同月比 | 前年同月比   |     |
| 生鮮野菜      | 946,931   | 103 | 854,057   | 90  | 583,111   | 117   | 65,627  | 105 |
| 加工野菜      | 1,909,671 | 106 | 1,854,295 | 97  | 1,089,936 | 101   | 160,964 | 95  |
| 野菜合計      | 2,856,601 | 105 | 2,708,352 | 95  | 1,673,047 | 106   | 226,591 | 98  |
| うち中国産野菜合計 | 1,458,418 | 103 | 1,415,901 | 97  | 831,407   | 106   | 117,418 | 97  |
| 中国産シェア    | 51        |     | 52        |     | 50        |       | 52      |     |

資料：ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」

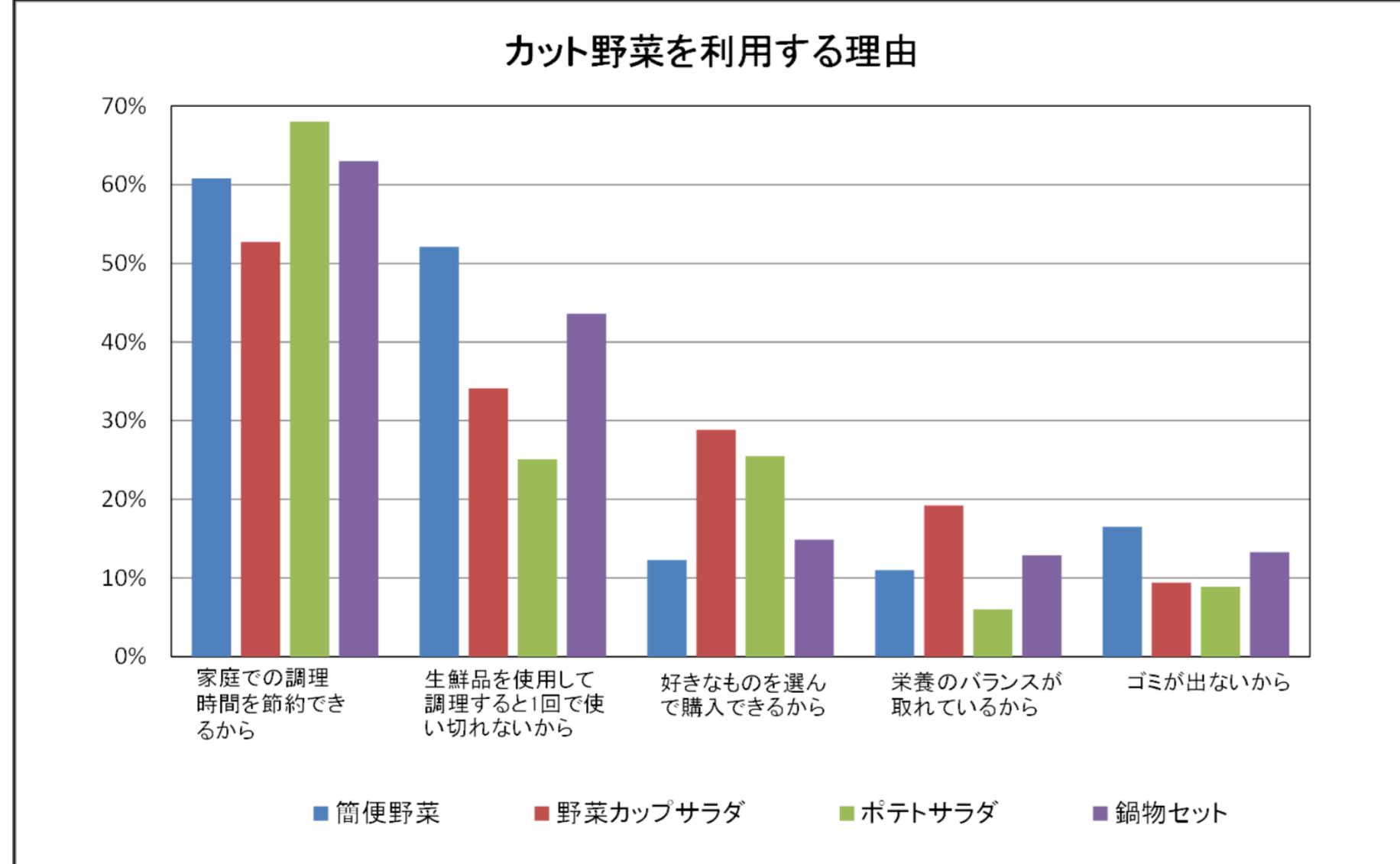
主な野菜の輸入数量

| 品目   | 輸入先      | 平成25年8月(A) | 平成26年8月(B) | (B)/(A) |
|------|----------|------------|------------|---------|
|      |          |            |            |         |
| たまねぎ | 合計       | 22,891     | 23,957     | 105     |
|      | 中国       | 22,163     | 22,387     | 101     |
|      | 韓国       | -          | 722        | -       |
| にんじん | 合計       | 6,514      | 5,505      | 85      |
|      | 中国       | 6,223      | 5,422      | 87      |
|      | ニュージーランド | 245        | 39         | 16      |
| ねぎ   | 合計       | 4,870      | 4,234      | 87      |
|      | 中国       | 4,868      | 4,232      | 87      |

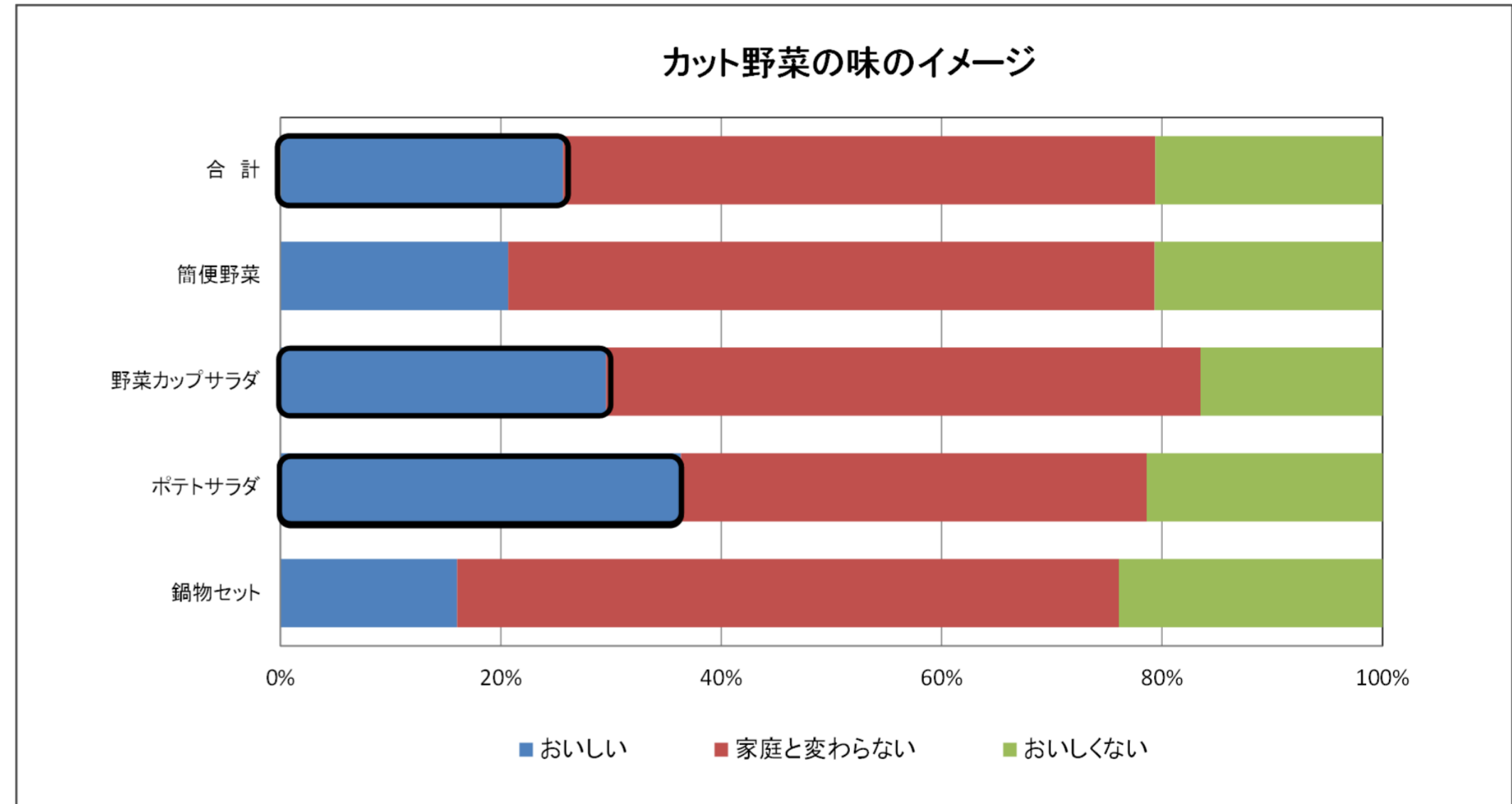
資料：農林水産省「植物防疫統計」注：平成26年8月は、速報値。

## 4 トピック — カット野菜の消費動向調査(Web調査)の概要② —

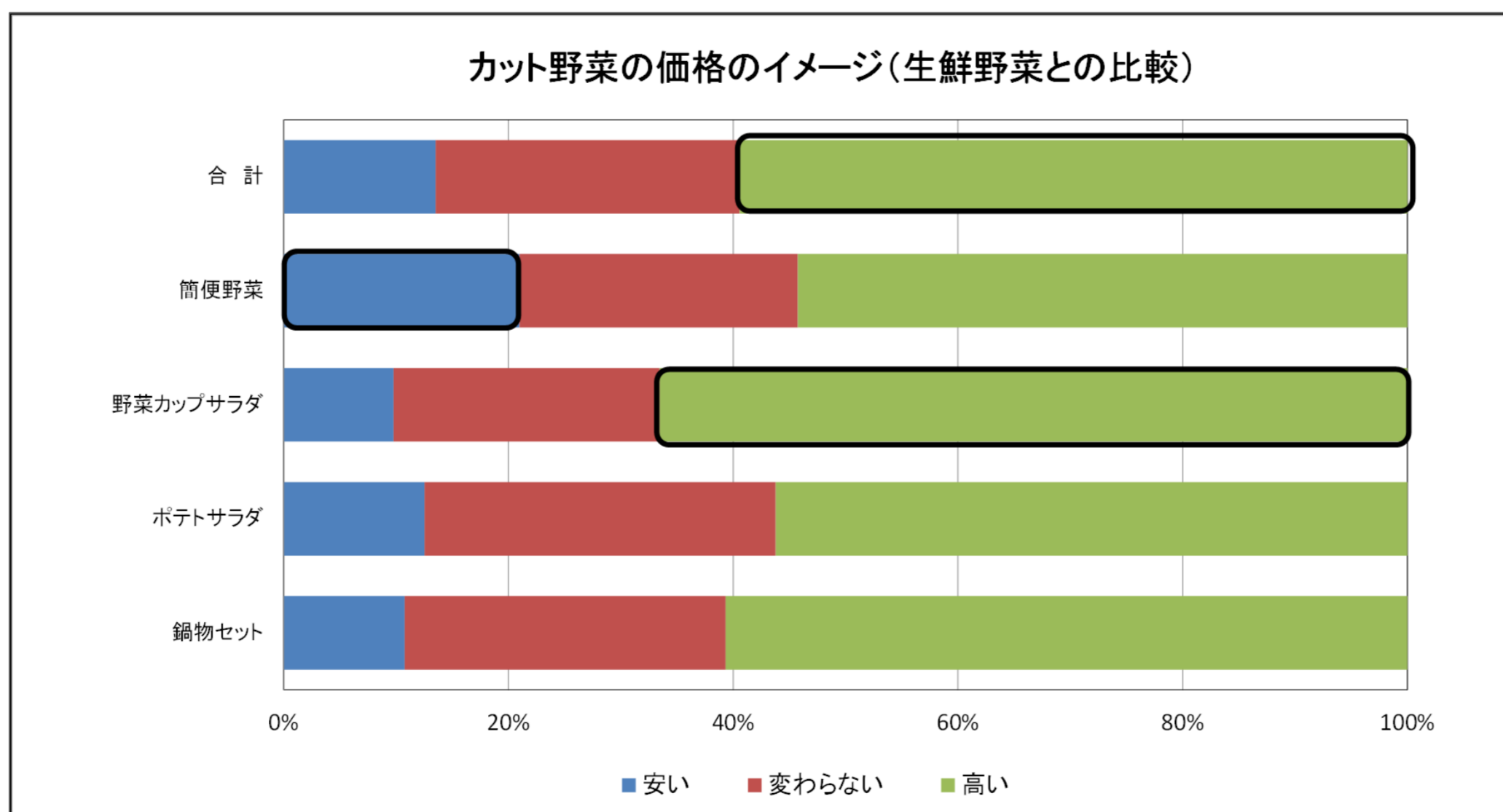
前回に引き続き、カット野菜(簡便野菜(キャベツの千切り等)、野菜カップサラダ、ポテトサラダ、鍋物セットの4種類に分類)について、当機構が実施したWeb調査(平成25年11月)をもとに、消費者意向(利用する理由、味や価格のイメージ等)の特徴を紹介する。  
カット野菜を利用する理由(複数回答可、以下同じ)については、「家庭での調理時間を節約できるから」とする回答が最も多く、次いで「生鮮品を使用して調理すると1回で使い切れないから」が多い。種類別では、特に簡便野菜と鍋物セットでこれらの回答が多く、カット野菜の利用では、調理時間の節約と一回での使い切りが重視されていることがうかがえる。  
カット野菜の味については、家庭で作る場合と比較して、「変わらない」とする回答が最も多いが、ポテトサラダ、野菜カップサラダでは、「おいしい」とする回答も比較的多く、味についても一定の評価を得ていることがうかがえる。  
カット野菜の価格については、生鮮野菜と比較して「高い」と感じる者が回答者の過半を占め、特に野菜カップサラダでは約7割を占めている。一方、簡便野菜では、「安い」と感じる者も約2割を占めている。  
生鮮野菜の価格が高い時の代替購入品の種類については、カット野菜が回答者の過半を占めて、冷凍野菜を上回っている。  
カット野菜については、価格はやや高いものの、時短調理や使い切りなどの利便性、さらには生鮮野菜の価格高騰時における代替品などの面が評価されて利用が広がっており、今後も核家族化の進展や共働き世帯の増加等に伴い、堅調な需要が見込まれている。  
(「カット野菜の消費動向調査」はこちらから。  
<http://www.alic.go.jp/content/000109646.pdf>)



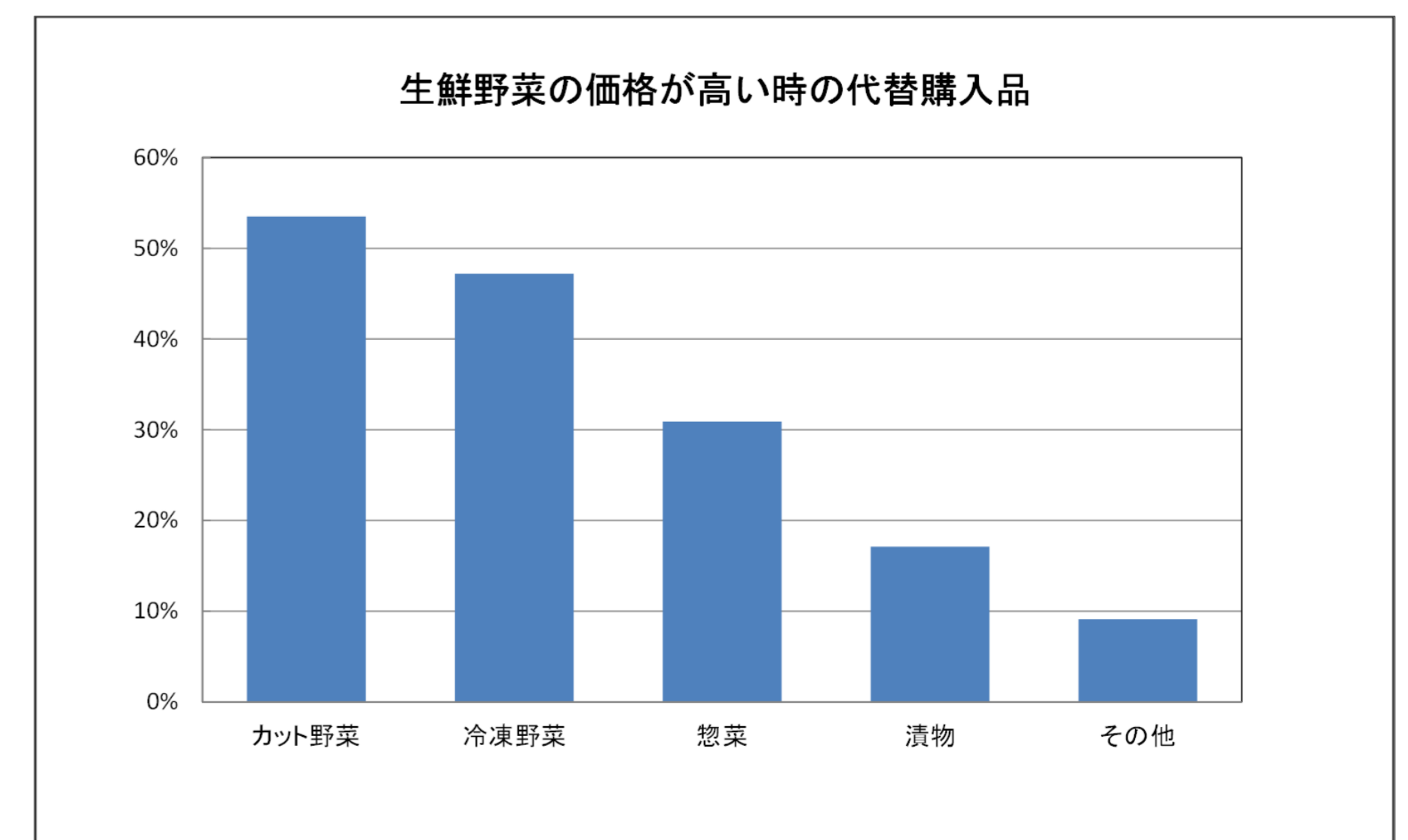
資料：機構「カット野菜の消費動向調査(Web調査)」



資料：機構「カット野菜の消費動向調査(Web調査)」



資料：機構「カット野菜の消費動向調査(Web調査)」



資料：機構「カット野菜の消費動向調査(Web調査)」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 前川、河原、齋藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。  
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。  
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、[http://vegetan.alic.go.jp/vegetable\\_report.html](http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html) に掲載しています。